

# 沖縄で大豆を育ててみよう

岸本恵理菜・佐次田柚樹・伊佐春菜・下地佑季・湧田櫻子

大豆ガール

沖縄市立コザ中学校2年

## 1. 目的・動機

### (1) 目的

沖縄でも大豆を作れるのかということを調べる。

### (2) 動機

テレビのニュースで、アメリカの大豆が干ばつにより不作であるということを知りました。そこで、日本、いや沖縄でも大豆は栽培できないのかと思い、調べてみようと思いました。(写真1)

## 2. 方法・内容

【実験1】大豆を各月に植え、どのつきに植えると一番いいのかということを調べる。

7月：大豆は、豆が出来るまでに順調に成長していましたが、台風の影響で、根ごと飛ばされたり、実がなくなっていたりという悲惨な事態で、まったく比べようがありませんでした。

8月：大豆は、芽が出て数日後にまたも、台風が訪れ、根ごとなくなってしまう、比べようがなくなりました。

9月・10月：大豆は、多少寒くなってきた時期にあるため、なかなか芽が出てきませんでしたが、10月の前半ごろに芽を出し、順調に育ち、12月前半には、とても大きな実がたくさんついていました。(写真2)



これが大豆です



大豆の実です

結果

大豆は、7月より、12月のほうが育つということがわかりました。

①使用する大豆の品種

今回、下にある図1と、図2を育てることにしました。



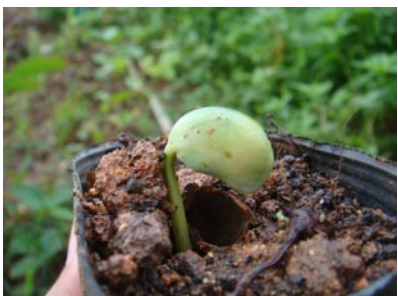


図1  
鶴の子大豆  
(白大豆)



図2  
丹波黒大粒大豆  
(黒大豆)

②大豆の発芽・成長について

	白大豆	黒大豆
7月14日(土)	35粒の種子を植えた	16粒の種子を植えた
7月18日(水)	18粒が発芽していた	8粒が発芽していた
	発芽率…約50%	発芽率…約50%
発芽の様子		
		
1日目	2日目	3日目

7月21日(土)	大きくなった大豆を植え変えた(白:12本)(黒:5本)
8月10日(金)	花が咲いていた(○が花です) 
8月17日(金)	実ができていた(○が実です) 

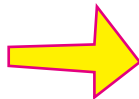
**【実験2】大豆の葉を使って、染物をする**

最初は、大豆の実を使って豆づくりなどを行うつもりだったが、大豆の不作により、大豆の葉っぱで染物は出来るのかと思い、染物を行った。

①大豆の葉っぱの重さを測る

葉っぱの重さは、42gでした。(布の重さの二倍にしました。)

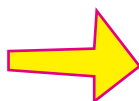
②大豆の葉っぱを、ちぎってミキサーにかける



③輪ゴムで結んだ布(布に模様をつけるため)を、②のミキサーにかけた液につける。

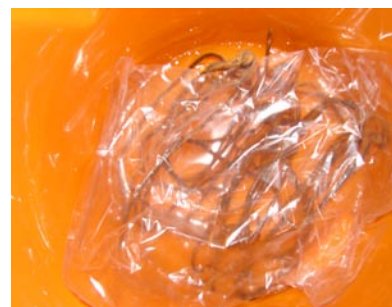


④みょうばん(100g)を沸騰したお湯に溶かす(布に色を定着させるための液体)





⑤鉄（500 g）と酢を約一日酢につけ、鉄ばいせんを作る（④と同じ）



⑥③の液体を二つに分け、一方には④の液（みょうばん）を、もう一方には⑤の液（鉄ばいせん）を注いだ



⑦⑥の2種類の液体に布を約1時間つける

⑧完成です



下の図（右：鉄ばいせん）（左：みょうばん）



### 3. 結果

大豆は、うすい緑色に染まることが分かりました。特に、みょうばんが一番よく染まることが分かりました。また、大豆は、沖縄では、約3ヶ月で実がなることが分かりました。しかし、台風の影響がものすごい沖縄では、大豆を育てるのは、難しいと思いました。さらに、沖縄でさまざまな農作物を育てている農家の方々は、とてもすごい方々ということが、この大豆の栽培を通して、身にしみて感じました。だから、食べ物は、残さず感謝して食べていかないといけないと思いました。

